

# 事例 2



## 「魔王」の謎解き

～シューベルトからの挑戦状～

### 第1学年 鑑賞

♪本題材で扱う学習指導要領の内容

第1学年 B 鑑賞

ア(ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠

イ(ア) 曲想と音楽の構造との関わり

〔共通事項〕(1)ア

音色, リズム, 旋律, 強弱

♪教材

「魔王」

F.P.シューベルト作曲/J.W.v ゲーテ作詞

### 1 題材の目標と評価規準

#### (1) 題材の目標

- 「魔王」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。
- 「魔王」の音色, リズム, 旋律, 強弱を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに, 「魔王」の曲や演奏に対する評価とその根拠について考え, よさや美しさを味わって聴く。
- 「魔王」の曲想と音楽の特徴との関わりに関心を持ち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組むとともに, 歌曲に親しむ。

#### (2) 題材の評価規準

| 知識・技能                                  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|--|---|
| <b>知</b> 「魔王」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 | <b>思</b> ① 「魔王」の音色, リズム, 旋律, 強弱を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。<br><b>思</b> ② 曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え, 「魔王」のよさや美しさを味わって聴いている。 | <b>態</b> 「魔王」の曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |

👉 [学習指導案](#)

👉 [ワークシート](#)

これまでに鑑賞の学習では, 映画「ジョーズ」から「ジョーズのテーマ (J.ウィリアムズ作曲) », 「和声と創意の試み」第1集「四季」から「春」第1楽章 (A. ヴィヴァルディ作曲) を学習しています。音楽を形づくっている要素に着目した学習活動を展開していますが, 感受は意欲的に行う一方で, 知覚したり, 知覚したことを言語化したりすることに苦手意識をもっている生徒が多いのが現状です。この課題の解決に向けた授業づくりを考えました。



## 2 題材の指導と評価の計画（全3時間）

| 時       | ◆学習のねらい ○学習内容 ・学習活動   | 評価     |             |        | 評価方法                    |
|---------|---|--------|-------------|--------|-------------------------|
|         |   | 知技     | 思           | 態      |                         |
| 1       | ◆「魔王」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。  |        |             |        |                         |
|         | ○原語で歌われている「魔王」を聴き、曲に関心をもつ。<br>・「魔王」を聴き、知覚・感受したことをワークシートに記入し、共有する。<br>○本題材の見通しをもち、「シューベルトからの挑戦状」を知る。<br>○「魔王」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。<br>・日本語訳詞で歌われている「魔王」を聴き、歌詞の内容を知る。<br>・「魔王」の演奏形態と4人の登場人物を確認する。<br>○「魔王」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。                               |        |             |        |                         |
| 2<br>本時 | ◆「魔王」の詩の内容と関わらせ、音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考える。  |        |             |        |                         |
|         | ○「魔王」の詩の内容とピアノ伴奏との関わり（第1の鍵）を探る。<br>・2つの場面を抜き出し、詩の内容を確認しながらピアノ伴奏に着目して聴き、気付いたことや感じたことをワークシートに記入する。<br>・伴奏の変化による音楽的な効果について考え、考えたことを発表し合い、共有する。<br>○「魔王」の詩の内容と旋律の関わり（第2の鍵）を探る。<br>・子が歌う「Vater（お父さん）」という詩がある部分を4カ所抜き出し、旋律の音高の変化に着目して聴き、気付いたことや感じたことをワークシートに記入し、共有する。 | ↓<br>知 | ↓<br>思<br>① |        | 観察<br>ワークシート            |
| 3       | ◆「魔王」の比較聴取を通して、「魔王」の歌唱表現に関心をもち、「魔王」の曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、よさや美しさを味わう。   |        |             |        |                         |
|         | ○詩の内容を表現するための歌い手の工夫（第3の鍵）を探る。<br>・4人の登場人物を歌い分ける歌い手の工夫について、気付いたことや感じたことをワークシートに記入し、共有する。<br>・2曲の「魔王」を比較聴取し、それぞれの音楽表現の工夫についてワークシートに記入し、共有する。<br>○「魔王」の謎解きとして、自分の考えをまとめ、発表する。  |        | 思<br>②      | ↓<br>態 | 観察<br>ワークシート<br>音楽学習ノート |

評価は、〔記録に残す評価〕を行う評価の場面を示しています。〔指導に生かす評価〕の場面は、随時存在しますので、毎時間の学習のねらいに即した生徒の学習状況を把握し、必要な指導を適宜行います。



### 3 本題材における指導の工夫のポイント

ここでは、本題材における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点を基に、指導の工夫のポイントについて紹介します。

#### ♪ 主体的な鑑賞を促す学習課題の設定とワークシートの工夫

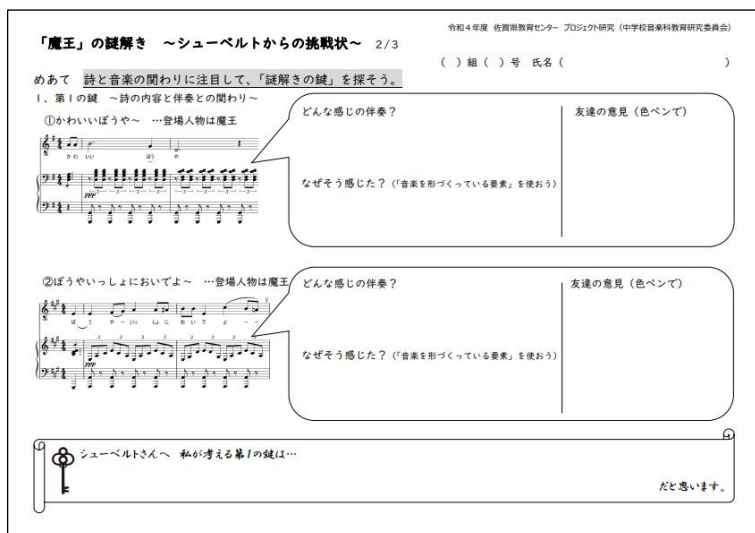
「授業づくり Q&A」Q6, 9, 10 を参考に、主体的な鑑賞を促す学習課題の設定とワークシートの工夫を行いました。本題材では、これまでの学習状況を踏まえ、生徒が、音楽を聴いて知覚・感受することに苦手意識をもっているという課題の解決に向けて、主体的な鑑賞を促す学習課題の設定とワークシートの工夫をすることによって、学習に対する興味・関心を高めることができるようにします。

主体的な鑑賞を促す学習課題の設定として、題材名を「『魔王』の謎解き～シューベルトからの挑戦状～」とし、「魔王」の音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができるようにするための3つの視点を、第1の鍵（詩の内容とピアノ伴奏との関わり）、第2の鍵（詩の内容と旋律の関わり）、第3の鍵（4人の登場人物を歌い分ける歌い手の工夫）と設定しました（資料1）。音楽を形づくっている要素を「鍵」と設定したことにより、生徒は意欲的に「魔王」を鑑賞し、「魔王」の特徴を知覚・感受しようとする姿が見られました。

ワークシートの工夫として、聴取する部分の楽譜を確認しながら、「魔王」を聴いて知覚・感受したことを記入できるようにしました。また、友達の意見を色ペンで記入する欄を設け、友達の考えを共有したり、自分の考えと友達の考えを比較したりすることによって、「魔王」を様々な視点で捉えることができるようにしました（資料2）。さらに、この学習活動を支えるツールとして、1人1台端末に聴取に必要な音楽を配付し、生徒の学習のペースに合わせて何度も聴き確かめることができるようにしました（資料3）。その際、使用する音源に関する著作権の取扱いについては十分に配慮する必要があります。



資料1 電子黒板での提示例



資料2 ワークシートの工夫例（第2時）



資料3 1人1台端末を活用したグループ活動

♪ 対話によって知覚・感受を促し、音楽を通した理解や自分なりの考えの形成につなげる学習活動

「授業づくり Q&A」Q9, 10, 11 を参考に、対話によって知覚・感受を促し、音楽を通した理解や自分なりの考えの形成につなげる学習活動を設定しました。生徒の実態として、音や音楽を聴いて聴き取ったことや感じ取ったことなどを言葉で言い表したり書き表したりすることについて苦手意識をもっている生徒が多く、自分の考えや思いを発表したり、他者と共有したりすることが難しい状況があります。教師や音楽、生徒同士と対話しながら、生徒一人一人が音や音楽を知覚と感受の働きによって捉えることができるようになることが理想ですが、限られた授業時数の中では難しい現実があります。そこで、本題材の第2時に、音楽を通した理解や自分なりの考えの形成につなげるために対話による知覚・感受を促す学習活動を位置付けました。

対話による学習活動の活性化を促すために、第1の鍵を探る学習場面  
 個人 → 一斉  
 ※教師や音楽との対話を通して学習活動の進め方を理解できるようにする。

第2の鍵を探る学習場面  
 個人 → グループ活動 → 一斉  
 ※第1の鍵を探る学習活動の進め方生かしたグループ活動を設定する。

対話による学習活動の活性化を促すために、第1の鍵を探る学習場面  
 個人 → 一斉  
 ※教師や音楽との対話を通して学習活動の進め方を理解できるようにする。

第2の鍵を探る学習場面  
 個人 → グループ活動 → 一斉  
 ※第1の鍵を探る学習活動の進め方生かしたグループ活動を設定する。

また、グループ活動の際には前述のように、1人1台端末に聴取に必要な音楽を配付しました（資料5）。このことは、自らの考えを共有する際のよりどころとして音楽を用いたり、他者の考えを確認する際の支えとして聴き確かめたりするために効果的です。資料6に示したワークシートから、音楽を何度も聴き直したり、他者の考えを聞いたりすることを通して、第2の鍵となる自らの考えを記述できていることが分かります。生徒の学習状況に応じて音楽を聴くことができるツールがあることで、音楽的な見方・考え方を働かせた対話的な学びにつなげることが期待できます。さらに、音楽科の特質に応じた言語活動を展開することもできますので、このような活動を題材の中に適切に位置付けることにより、音楽を通した実感を伴った理解や音楽を聴いて聴き取ったことや感じ取ったことなどを言い表したり書き表したりするための言葉の獲得から自分なりの考えの形成につなげることができました。

○ 第1の鍵を探る学習場面

個人 → 一斉

※教師や音楽との対話を通して学習活動の進め方を理解できるようにする。

○ 第2の鍵を探る学習場面

個人 → **グループ活動** → 一斉

※第1の鍵を探る学習活動の進め方生かしたグループ活動を設定する。

資料4 段階的な学習活動の展開（第2時）

第2の鍵 ～旋律と詩～

① お とう ん そ こ に み え な い の  
 (Va - ter, mein Va - ter)

② お とう ん お とう ん ま こ え な い の  
 (Mein Va - ter, mein Va - ter)

③ お とう ん お とう ん そ れ そ こ に  
 (Mein Va - ter, mein Va - ter)

④ お とう ん お とう ん ま お が い ま  
 (Mein Va - ter, mein Va - ter)

資料5 1人1台端末に配付する音楽の提示例

2. 第2の鍵 ～旋律と詩～

旋律の音の高さは… (どれかに○)  
 同じ・だんだん低くなる・だんだん高くなる

なぜこのように変化しているだろうか？  
 きんちこうしんが声があがるから？

どんな効果があるだろうか？  
 ・さいいているもそにいてるみたいになる。

友達の意見  
 ・だんだんおとさんにうたえてい  
 るかんじ  
 ・あせている  
 ・きんちこうかん

3. 振り返り (key: 詩、音楽、関わり)

私が使った2つの鍵、見つけたかな？  
 次回は2つの鍵を使って、理解してみよう。

旋律の音の高さは… (どれかに○)  
 同じ・だんだん低くなる・だんだん高くなる

なぜこのように変化しているだろうか？  
 きんちこうしんが声があがるから？

どんな効果があるだろうか？  
 ・さいいているもそにいてるみたいになる。

友達の意見  
 ・だんだんおとさんにうたえてい  
 るかんじ  
 ・あせている  
 ・きんちこうかん

資料6 生徒の記述より

シューベルトさんへ 私が考える第2の鍵は…

詩に合わせて高低差があり開いている人も、そこにいるかのふらに  
 なる」

だと思います。